

(臨床研究に関する公開情報)

東京大学医学部附属病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 小児・成人悪性腫瘍がん幹細胞の同定に関する研究

[研究責任者] 加藤元博 東京大学医学部附属病院 小児科 教授

[研究の目的]

この研究の目的は、小児・成人悪性腫瘍疾患において発症や、再発の主原因であるとされるがん幹細胞を含めたがん細胞や腫瘍環境細胞の特性を知ることにより、有効な治療法を開発することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さんと研究方法

小児あるいは成人の血液悪性疾患あるいは固形悪性腫瘍の患者さん

主には組織や細胞などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、遺伝子の構造や発現量を解析します。調べる対象は、関係する可能性のある数多くの遺伝子です。その他、正常細胞と比較しながら、がん細胞や腫瘍環境細胞の性質を詳しく調べます。さらには免疫不全マウスを使用して治療法の開発なども行います。主な解析は京都大学発達小児科学の研究室で行うため、検体と臨床情報は京都大学発達小児科学に送付して解析を行います。この際、個人を特定できる情報は削除された状態で送付します。

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液・骨髓液・髄液・手術検体など（診療または他の研究で使用した余りの検体で、別途書面で説明する場合を除き、この研究のために新たに採取することはありません）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、治療経過、血液検査、骨髓検査、染色体検査、遺伝子検査など

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果はデータベース、学会や学術雑誌上で発表されますが、その際も患者さんを容易に特定できる個人情報は明らかになりません。

[個別の結果について]

原則として、研究で行った解析の結果について個別に開示を行うことはありません。ただし、医学的な観点からお伝えする必要があると研究者が判断した場合に、情報の開示を希望されるかにつきお問い合わせする場合があります。

[問い合わせ先]

東京大学医学部附属病院 小児科 加藤元博

連絡先：TEL 03-3815-5411